

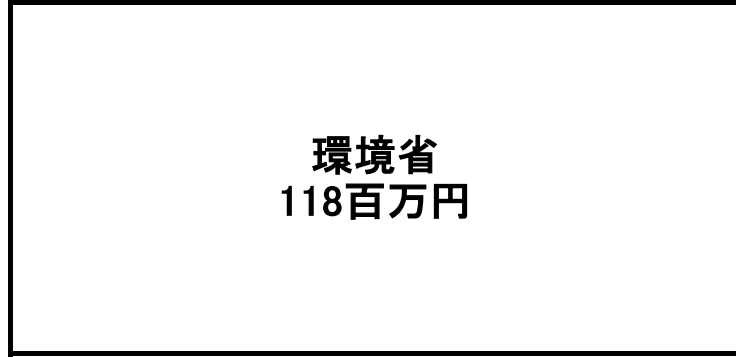
平成25年行政事業レビューシート

(環境省)

事業名	温室効果ガス観測技術衛星「いぶき」による地球環境観測事業		担当部局庁	地球環境局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成18年度～未定		担当課室	総務課研究調査室		室長 辻原 浩		
会計区分	一般会計		政策・施策名	2. 地球環境の保全 2-3 地球環境保全に関する調査研究 9. 環境政策の基盤整備 9-3 環境問題に関する調査・研究・技術開発				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	—		関係する計画、通知等	京都議定書目標達成計画				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	<p>・「いぶき」の観測データを継続的に地上や航空機による観測データと比較して検証することにより、観測データの品質を維持する。</p> <p>・いぶきによる連続的、系統的な観測を実施することにより、全球の炭素循環をより精緻に理解し、気候科学に貢献し、それにより気候変動に関する政策に貢献する。</p>							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<p>・いぶきの観測データと比較し、検証するための地上や航空機による温室効果ガス観測データ、気象データ等を取得し、検証をするにあたり不足している部分については、検証用の観測を追加的に実施する。</p> <p>・いぶき観測データと検証用データを比較、検証することにより、センサーの経年劣化によるエラーや、大気の状態による誤差(雲やエアロゾル等)を検知する。</p> <p>・補正が必要なデータについては、誤差の原因分析を実施し、処理アルゴリズムの改訂を実施し、補正を行い、データの品質を維持する。</p>							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算	-	-	-	-		
		繰越し等	-	-	-	-		
		計	39	274	120	109	109	
	執行額	39	264	118				
	執行率(%)	100%	96%	98%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		成果実績	単位	22年度	23年度	24年度	目標値(年度)
	全球炭素循環の研究の進展により、気候変動予測の精度を向上させ、将来のより効果的な地球温暖化対策の政策立案に資する。			-	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		活動実績 (当初見込み)	単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	全球の64地域における二酸化炭素及び全球の43地域におけるメタン収支推定値の不確実性の低減率(最大数)。 ※メタンは25年度から			%	-	-	40%	-
					-	(-)	(40%)	((二酸化炭素)40%未満(メタン)44%)
単位当たりコスト	- (円/ -)		算出根拠	-				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	公害調査費	109	109	-				
	計	109	109					

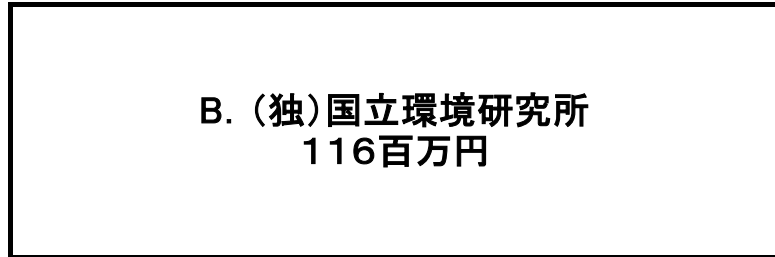
事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	いぶきによる観測は、全球的な温室効果ガスの分布と挙動を明らかにするものであり、国民の関心の高い地球温暖化について、科学的知見の向上と今後の対策に関する政策立案等に大きく貢献するものであることから、国が実施すべき事業である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	本事業の実施に当たっては、専門的な技術・知見が必要であるため、特定の業者しか実施できないと想定されたものの、可能な限り競争性を確保するため、参加者確認公募を行った。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		-			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		○			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	平成24年度においては当初の見込みどおり、不確実性の低減率を40%とすることができた。事業の成果は関連研究者等に提供するとともに、海外の他機関による同様の解析との比較研究などに有効に活用されており、結果の妥当性について評価・確認を行ったうえで、一般にも公開している。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)			下記の通り、文部科学省と適切な役割分担を行いながら、「いぶき」を運用している。 ・環境省は観測データの品質維持を目的として、地上観測や航空機観測の結果等との比較・検証を実施。 ・文部科学省は、地球観測推進の観点から「いぶき」を安定的に動作させ、確実なデータ提供のための衛星運用や観測センサの軌道上校正を実施。		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
	250	地球観測衛星システムの開発に必要な経費	文部科学省研究開発局			
点検結果	「いぶき」による全球の二酸化炭素、メタン濃度分布観測は、世界で唯一のものであり、世界中の科学者等に利用されている。地球温暖化問題に対する先進国としての責任を果たすため、今後も品質の保証された観測データの提供を行うためには、本事業による品質の保持・管理は必須であり、GOSATの運用が続く間は、今後も引き続き事業を行う必要がある。					
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状通り	引き続き効率的な執行に努めること。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状通り	引き続き効率的な執行に努める。					
備考						
○独立行政法人国立環境研究所による「いぶき」プロジェクト紹介ページ http://www.gosat.nies.go.jp/						
○独立行政法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)による「いぶき」プロジェクト紹介ページ http://www.jaxa.jp/projects/sat/gosat/topics_j.html						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	040	平成23年	025	平成24年	023

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



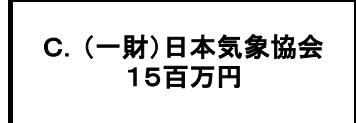
(業務概要)
地上及び航空機観測の結果と比較することで、いぶきに搭載された温室効果ガス観測センサーにより取得されるデータの検証を行う。

【参加者確認公募/請負】



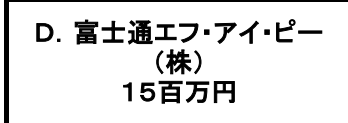
H24年度温室効果ガス観測技術衛星(GOSAT)観測データ検証業務
(業務概要)
地上観測や他の衛星観測等から得られる信頼性の高いデータ(検証用データ)とGOSATプロダクトとを対照比較することにより、GOSATプロダクトの精度を評価する業務(検証解析業務)及び、検証解析業務で必要とされる検証用データの取得・検証を行う。

【外注/契約】



(業務概要)
検証業務支援

【外注/契約】



(業務概要)
GOSAT検証データ解析業務

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているかについて
補足する)
(単位:百万円)

費目・用途 (「資金の流れ」に おいてブロックご とに最大の金額 が支出されている 者について記載 する。費目と用途 の双方で実情が 分かるように記 載)	A.(株)東京海上日動キャリアサービス			B.(独)国立環境研究所		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
	雑役務費	派遣職員1名	2	雑役務費	高機能FTS検証のための航空観測、観測 データ取得等	46
				外注費	(一財)日本気象協会、富士通エフ・アイ ピー(株)	30
				旅費	研究公募会合、打合せ等	11
				人件費	高度技能専門員	8
				消耗品費	消耗品(レンズ、ビームスプリッター、波長 板、標準ガス等)	4
				諸謝金	研究公募委員会謝金、GOSATサイエンス チーム会合謝金等	1
				その他	印刷製本費、借料及び損料、通信運搬費	1
				一般管理費等	一般管理費、消費税	16
計		2	計	※端数処理の関係により、各費目の合計額 と一致しない	116	
C.(一財)日本気象協会			D.富士通エフ・アイ・ピー(株)			
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)	
雑役務費	検証業務支援	15	雑役務費	GOSAT検証データ解析業務	15	

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)東京海上日動キャリア サービス	人材派遣	2	1	94%

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(独)国立環境研究所	地上観測や他の衛星観測等から得られる信頼性の高いデータ(検証用 データ)とGOSATプロダクトとを対照比較することにより、GOSATプロダク トの精度を評価する業務(検証解析業務)及び、検証解析業務で必要とされ る検証用データの取得・検証を行う。	116	随意契約	-

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(一財)日本気象協会	検証業務支援	15	随意契約	-

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	富士通エフ・アイ・ピー(株)	GOSAT検証データ解析業務	15	随意契約	-